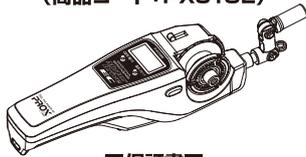


保証書・取扱説明書

攻棚ワカサギ モータードライブEC (商品コード:PX018E)



■保証書■

FEEL THE POWER OF
PROX
INC.

【保証規定】

- 保証の期間**
●購入日から1年間(1回・1箇所限り)
- 保証内容**
●保証書記載の当社製品のみ保証致します。
●正常な使用状態で、故障した場合のみ有効です。
- 保証の受け方**
●本保証書にお名前・住所・お電話番号・販売店名・不具合内容のご記入の上、販売店スタンプもしくは購入日が証明できるものを添付して、破損現品を添えて、必ずお買い求めになった販売店へお申し出ご依頼下さい。
※お預かりした製品は本保証書とともにお返し致します。その際検査記入欄に確認済の印を付けさせていただきます。
- 保証の範囲**
●当社製品に起因する付随的な損害(釣行に要した費用など)については保証致しかねます。
●当保証書は、日本国内でのみ有効となります。(This warranty is valid only in Japan)
※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
■保証の例外規定
下記の場合は保証期間内であっても有償となります。
①下記に起因する破損ならびに故障
●保守や手入れの不備
●耐用または仕様基準を超えた使用。
●使用・操作上の著しい誤りや特に乱暴・粗悪な取り扱い。(落下や障害等)
●当社以外で行われた改造・分解。
②天災・火災・盗難等、不可抗力による紛失・修理・分解。
③使用頻度による退化及び変化、または外的要因により発生した不具合。
●塗装メッキ、その他加工処理面の自然色退色、脱色、腐食、はく離等。
④一般機能上において、影響の無い感覚的現象。
●音、ガタ、振動等。
●製品の機構上、必然的に発生する現象。
⑤水没による故障は、保証対象外となります。
⑥①～⑤等の使用や操作による破損や現象までは保証致しかねます。
よってこれらの修理や補修は保証期間内でも有償とさせていただきます。

検査

SEMETANA WAKASAGI Motor Drive

この度は攻棚ワカサギモータードライブECをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき製品の特長・仕様をよく理解した上でご使用ください。なお、この取扱説明書は保証書にもなっておりますのでお読みいただいた後は、大切に保管して下さるようお願い申し上げます。

ご使用前に必ずお読みください。

お取り扱い上の注意

攻棚ワカサギモータードライブECは、精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守り、ご使用ください。また、本製品を末永くご使用いただくために釣行後のお手入れを十分に行ってください。

■安全にお使い頂く為に

- 本リールは、防水仕様ではありません。水没した場合は、直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談下さい。また、水洗いは、故障の原因となりますのでお止めください。
- お使いになる人や、他人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、本取扱説明書や外箱に表示された内容は必ずお守りください。取扱説明書や外箱のマークの意味は、次のようになっています。



警告

この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。



警告

■リール本体について

- 本機は、淡水の止水状況でのワカサギ釣り専用リールです。河川やトローリングなどの流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因になります。
- 分解、修理、改造等をしてしないでください。故障や火災、ケガの原因になります。
- スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターゴムの破損、スプールの磨耗、発熱などから火傷、火災、故障の原因となります。
- 万一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い匂い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。放置すると事故や火災の原因となります。
- 電池が新しいにも関わらず、スプール回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、直ちに使用を中止し速やかに電池を抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。放置すると事故や火災の原因となります。
- リール本体は、防水仕様ではありません。水没した場合は、直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 移動時や使用しない場合は、電池を抜いてください。誤ってボタンを押した状態になった場合、モーターが発熱し、事故や火災、電池の液漏れなどの原因となります。
- 使用中、根掛かりや大きな魚が掛かる等の高負荷が生じた場合、直ちにモーターの回転を止めてください。発熱などから火傷、火災の原因となります。
- 本体、電池共に保管の際は、子供や幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 水に濡らしてのご使用は、お止めください。
- 電池ボックス内に水が溜まると、漏電や電解腐食の原因となり、機能に影響を与えます。水が入っている場合、直ちに電池を抜いて水分を拭き取ってください。
- デジタルカウンター部は絶対に開けないでください。防水不良や故障の原因となります。故障の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- デジタルカウンター部の内側に水滴の付着や曇り、ひび割れ、クラック等が見られた場合、使用を中止し修理にお出ください。
- リールに衝撃を加えたり、投げつけたりしないでください。
- 本リールは、防水仕様ではありません。水洗いは、故障の原因となりますので、お止めください。

■電池について

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 新旧、異種電池の混用は、お止めください。液漏れ、破裂、発熱、発火の原因となります。
- 電池の極性⊕⊖を逆に入れてください。
- 火の中への投入、加熱、極間の(⊕⊖)のショートはしないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害が発生する恐れがあります。



注意

■リール本体について

- ワカサギ釣り以外の目的に使用しないでください。
- 糸が勢いよく出ている時は糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- 勢いよく回転しているスプールには触れないでください。ケガをする恐れがあります。
- クラッチレバーを強い力で押し付けしないでください。機能障害や割れてケガをする恐れがあります。
- 火気やストーブのそば等、高温になる場所での保管、使用はしないでください。変形や故障の原因となります。
- お手入れ時、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は、ご使用にならないでください。変形や故障の原因となります。
- 直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。
- 落下などの衝撃を与えないでください。破損や電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。
- ラインはスプールに均等に巻いてください
- 糸がスプール軸に絡んだ場合は、無理に引張らず、電源をOFFにしスプールを外してから糸を取り出してください。
- 何度も巻上を繰り返すと、巻上速度が遅くなる場合があります。
- マグネットの近くに置かないでください。モーターやカウンターの誤表示の原因となります。
- 液晶面に力を加えると防水機能が低下し故障の原因となります。
- 液晶カバーは、傷付きやすいので、画面を拭く際には、十分に注意してください。
- 本体を改造しないでください。リールの性能を損ない、ケガをする恐れがあります。
- 船へり停止位置は、巻上張力等によってズレる事があります。停止位置がズレてきた場合、「0設定」にて補正してください。
- ドライヤーや発熱器具を使っての乾燥はお止めください。樹脂が変形する恐れがあります。

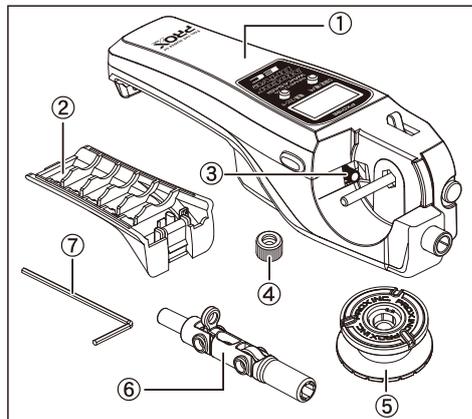
■電池について

- 長時間使用しない場合は、必ず本体から電池を取り出し保管してください。
- 使えなくなった電池は、速やかに本体から取り出してください。液漏れの原因となります。
- 電池を保管、廃棄する場合は、接点部分にテープを貼る等の絶縁を行ってください。
- アルカリ電池のご使用を推奨します。マンガン電池は、使用時間が短くなります。
- 電池残量警告は、目安としてご覧ください。

■穂先について

- 根掛りした場合は、穂先を使わず糸を手にとって外してください。その際、糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオル等で手を保護してください。
- 仕掛けを巻上る際、巻過ぎると穂先の破損を招く恐れがあります。巻上の際は、巻込み過ぎに十分注意してください。
- 穂先は、規定サイズの元径の穂先を付け穴に差込み、簡単に抜けない事を確認してください。ゆるんだ状態でご使用になりますと、破損や折れの原因となります。また、ご使用中は振動でゆるむ事もございますので、ご注意ください。

パーツリスト



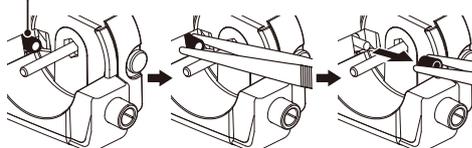
番号	パーツ名	番号	パーツ名
①	本体組	⑤	スプール組
②	電池カバー	⑥	ワカサギジョイント
③	モーターチューブ	⑦	ワカサギジョイント用レンチ
④	スプール止めネジ	⑧	スプール用の止めスチカー

※製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更する場合がございます。

モーターチューブの交換方法

スプールが滑り出した場合はモーターチューブを交換してください。クラッチを「LOCK」側に倒し、スプールを外すとモーターチューブが確認できます。ピンセット等で摘みチューブを引き抜きます。装着する場合は、逆の手順で行います。

モーターチューブ



攻棚ワカサギモータードライブECの特長

デジタルカウンター

●10cm単位で水深を表示します。

自動棚停止

●仕掛け落下時、棚メモ設定した位置で自動停止します。

船べり自動停止

●巻上時0設定した位置で自動停止します。

●0設定の1m手前より減速して0mで自動停止しますので、急停止での魚のハリ外れを防止します。

巻上

●「チョイ巻」と「自動巻上」を選択できます。

●巻上ボタン左・右どちらか一方のボタンを押せば、押している間だけ、設定した速度で巻上る「チョイ巻」になります。

●巻上ボタン左・右を同時に押せば、設定した速度で「自動巻上」になります。

巻上速度調整

●巻上速度を5段階で調整可能です。

電池残量警告

●電池の残量が少なくなれば、SPEED表示が点滅し2段階でお知らせします。

ラインデータ入力

●PEライン・フロロラインの種類、号数を選択して入力できます。

スプールラインストッパー

●ラインを引掛ける事で決めた棚で仕掛けを止める事が出来ます。

糸止め

●移動時等ラインを止めておけます。

尻手ロープ穴

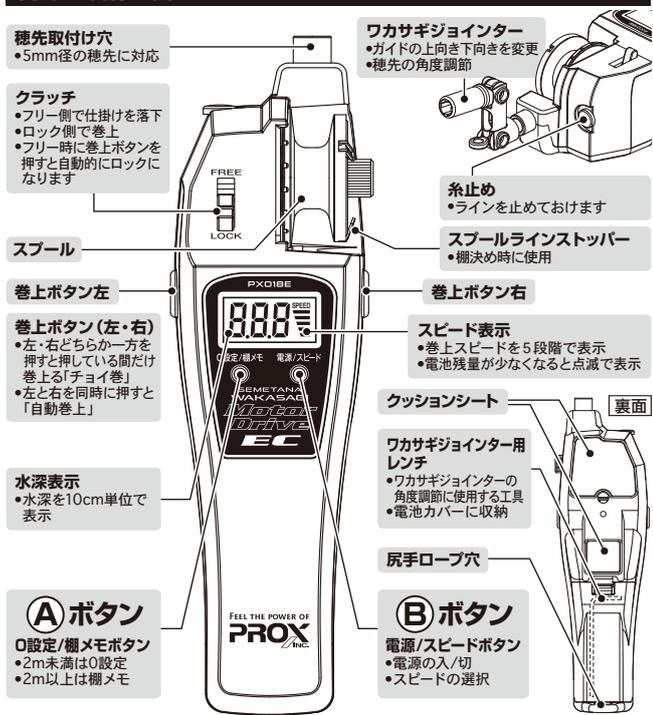
●落下防止の尻手ロープが取付けられます。

ワカサギジョインター

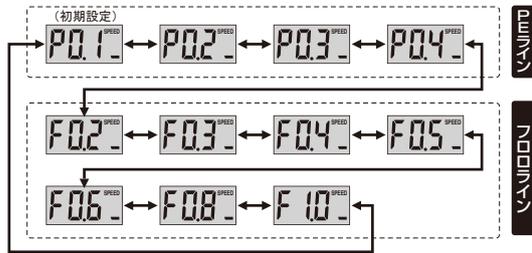
●ガイドの上向き下向き角度調節が可能です。

●穂先をセットしたまま180°折れたたんで収納可能です。

各部の名称と動き



③電源/スピードボタン(Bボタン)と0設定/棚メモボタン(Aボタン)を押すと同時に、下記図のようにライン種/号数が切り替わります。



④使用するライン種/号数を選択し、0設定/棚メモボタン(Aボタン)を長押しすると決定されます。(図4) 例: PEライン0.3号を巻く



⑤選択が終わるとカウンターに0.0(ライン巻取り量)が表示されます。(単位: m) (図5)



⑥スプールにラインを巻きましょ。スプールにラインを結び、どちらかの巻上ボタンを押して(チョイ巻)ラインを均等に巻上てください。巻取り量がカウンターに表示されます。*ラインデータ入力は、20m以上の長さが必要です。

⑦巻取りが終わったところで0設定/棚メモボタン(Aボタン)を長押ししてラインの巻取り量を入力します。(図6) 例: 60m巻取り



⑧決定後、カウンターに水深0.0が表示され完了です。(図7)

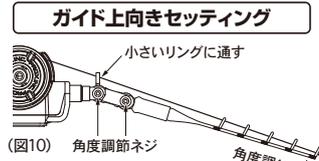
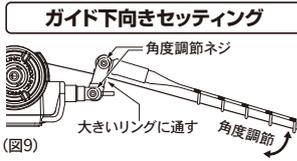


4.穂先のセット方法

- 穂先差し込み径は、穂先外径5mm用で設計しています。*別売の穂先購入時は、差し込み部の外径を必ず確認してください。
- 穂先取付け穴に穂先を奥まで差し込んでください。*無理に押し込むと、穂先を破損する恐れがありますので、注意してください。*振動等で穂先が緩む場合がありますので、ご使用中は時々ご確認ください。

5.ワカサギジョインターと穂先のセット方法

- 下記図のようにリールにワカサギジョインターと穂先を取り付けてください。角度が決まればワカサギジョインター用レンズを電池カバーより取り出し(図8)角度調節ネジをしっかり締めてください。ラインが穂先に接触せず仕掛けの沈下速度が速いガイド下向きセッティング(図9)とスタンダードなガイド上向きセッティング(図10)が選べます。*振動等で穂先、ネジが緩む場合がありますので、ご使用中は時々ご確認ください。



6.船べり自動停止のセット方法

- 仕掛けの掴みやすい位置で0設定/棚メモボタン(Aボタン)を長押しすると停止位置が設定され、カウンターに0.0が表示されます。(図11)
- 0設定の1m手前から減速して0mで自動停止します。*停止した状態からさらに巻き上げるときは巻上ボタンを一度離してから押しなおしてください。



7.ラインの出し方、止め方

- クラッチをフリー側へ倒すと、スプールフリー状態になり仕掛けを落下させる事が出来ます。
- 仕掛けが底や棚に到着したらクラッチをロック側へ戻すか、巻上ボタン(チョイ巻)を押してクラッチを戻してください。*着底時等、ラインが出過ぎるとトラブルの原因になりますので、落下時はスプールを指で軽く押さえてください。

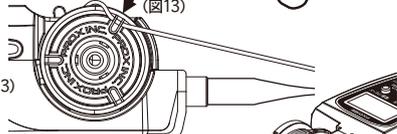
8.自動棚停止機能のセット方法

- 仕掛けを落とし、停止させたい棚で0設定/棚メモボタン(Aボタン)を押すと決定され表示部が点滅します。(図12) 例: 水深25mで停止
- 次の仕掛け投入からセットされた棚で停止します。違う水深で同じ操作を繰り返す事で上書きされます。*自動棚停止は2m以上で有効となります。
- 自動棚停止をリセットするときは電源/スピードボタン(Bボタン)を長押しして電源を切ってリセットしてください。



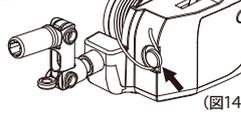
9.スプールラインストッパーの使い方

- 仕掛けを落とし、停止させたい棚でストッパーにラインを掛けます。(図13)
- 次の仕掛け投入から同じ棚で止める事が出来ます。



10.糸止めの使い方

- ラインを図のように糸止めに引っ掛けて固定します。(図14)
- 穂先をセットしラインを通した状態でもご使用できます。

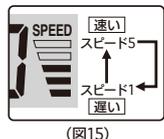


11.巻上

- 巻上ボタン左と右どちらか一方を押すと押している間だけ巻上る「チョイ巻」になります。
- 巻上ボタン左と右を同時に押すと「自動巻上」になります。巻上ボタンをもう一度押すと停止します。

12.巻上速度調整

- 5段階の巻上速度を調節できます。
- 電源/スピードボタン(Bボタン)を押すごとに1段階づつ速くなります。スピード5の次はスピード1に戻ります。(図15)



13.セーフティ機能

- ①電源オートOFF機能
30分間スイッチ操作やカウンター表示に変化がなければ、自動的に電源がOFFになります。
- ②モーター保護機能
モーターがONの状態(巻上状態)で、スプールの回転が5秒間以上停止した場合モーター保護のため巻上が停止します。再度巻上ボタンを押すと、通常時に戻ります。

14.電池残量警告

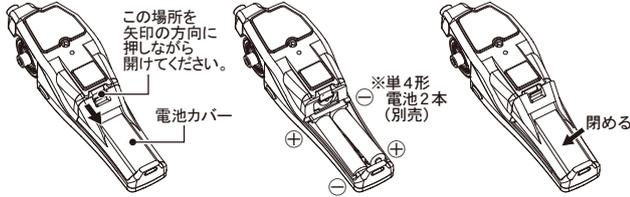
- 電池の残量が少なくなれば、SPEED表示が点滅し2段階でお知らせします。(図16)
- 1段階はゆっくりと点滅し電池残量が少なくなった事をお知らせし2段階は速く点滅し電池交換目安をお知らせします。



操作方法

1.電池の入れ方

- ①電池カバーを外し⊕の向きを間違えないように単4形電池×2本(別売)を入れてください。
- ②電池カバーの爪を先に差込んで閉めます。



釣行には電池残量を確認し予備の電池も必ずご持参ください。

2.電源の入れ方・切り方

- ①電源/スピードボタン(Bボタン)を長押しすると電源が入ります。(図1)
- ②電源を切る時も電源/スピードボタン(Bボタン)を長押しします。*電源が入っている状態で30分間放置すると電源が切れます。



3.ラインデータ入力

ラインデータ入力設定対応表

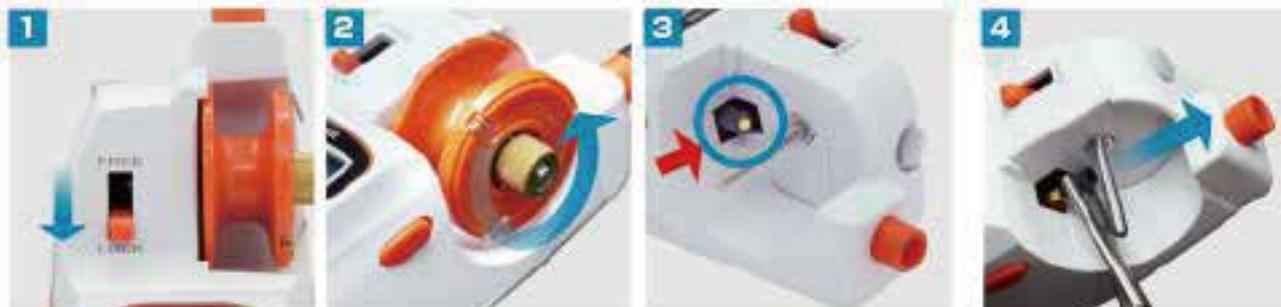
PEライン	0.1号、0.2号、0.3号、0.4号
フロロライン	0.2号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号、1.0号

- ①0設定/棚メモボタン(Aボタン)と電源/スピードボタン(Bボタン)を同時に長押しすると液晶パネルの表示が点滅します。(図2)
- ②0設定/棚メモボタン(Aボタン)を押すとライン号数(初期設定PE0.1号)が表示されます。(図3)



モーターチューブの交換方法

モーターチューブは、磨耗により消耗します。
スプールが滑り出した場合は、モーターチューブを交換してください。



1 クラッチを「LOCK」側に倒す。

2 スプール止めネジを外しスプールを取り外す。

3 ココにモーターチューブがあります。

4 ピンセット等で摘み引き抜きます。

装着する場合は、逆の手順で行います。

初期化(リセット)の方法

不具合等があった場合に、工場出荷時の状態に戻し復旧する初期化(リセット)が可能です。

4つのボタンを同時に長押しすると初期化(リセット)されます。

